

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/05/07

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.75	0.02
JPY/THB	0.2387	-0.0012
USD/JPY	153.92	0.87
EUR/THB	39.57	0.05
EUR/USD	1.0769	0.0008
USD/CNH	7.214	0.021
SGD/THB	27.19	-0.02
AUD/THB	24.34	0.07
USD/INR	83.50	0.07
USD Index	105.05	0.02

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.532	0.000
10Y (THB)	2.750	0.000
5Y (USD)	4.487	-0.012
10Y (USD)	4.487	-0.020

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,331.2	22.6
WTI (Oil)	78.48	0.37
Copper	9,910.0	0.0

Stock

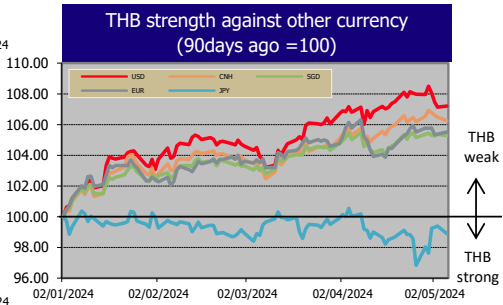
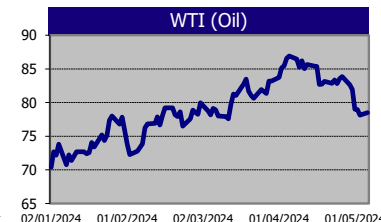
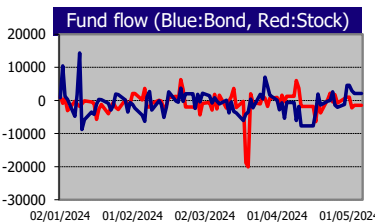
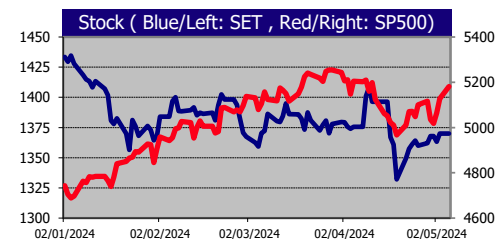
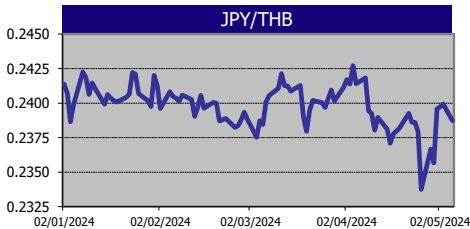
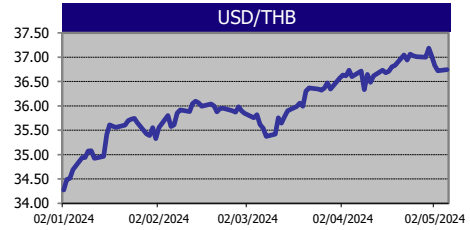
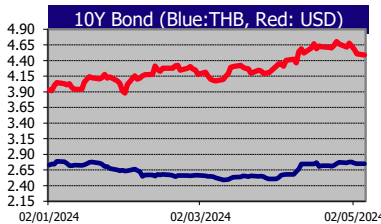
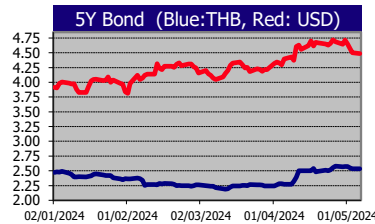
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,369.92	0.00
NIKKEI (JP)	38,236.07	0.00
DOW (US)	38,852.27	176.59
S&P500 (US)	5,180.74	52.95
SHCOMP (CN)	3,140.72	35.90
DAX(GER)	18,175.21	173.61

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,498)	0.0
Bond net flow	2,143	0.0

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・5月3日(金)のドルパーツは小幅下落。36パーツ台後半で取引を開始すると、タイ4月CPIが発表され、ヘッドラインで+0.19%(前年比)と、昨年9月以来のプラス圏となったことが確認されるも、海外時間に米4月雇用統計の発表を控える中、相場への影響は限定的。注目の雇用統計は雇用者数、失業率、賃金ともに予想対比弱い結果となり、ドル売りが進行。ドルパーツは一時36パーツ台半ばまで下落した。ただ、その後は売りが一巡する中、Fed高官から利上げの可能性について言及されたこともあり、36パーツ台後半まで戻しクローズした。昨日のドルパーツは36パーツ台半ばから後半付近にかけて方向感に欠ける展開。タイ休日となり、特段の材料見当たらない中、ドルパーツは小動き。海外時間、複数のFed高官からややハト派的なコメントが確認されるも、ドルパーツ相場への影響は限定的となり、そのまま36.75レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・5月3日(金)のドル円は上昇。153円台前半で取引を開始。東京休日となる中、本邦当局による介入や、米4月雇用統計への警戒感もあり、上値重く推移。一時152円台後半まで下落すると、以降は153円ちょうど付近で推移。海外時間、弱い雇用統計を受けて151円台後半まで急落するも、Fed高官からのタカ派な発言を受けて終盤にかけて153円ちょうど付近まで戻しクローズした。昨日、引き続き本邦休日となる中、ドル円は上昇。前週の介入と思しき動きや雇用統計の結果を受けて水準を切り下げたこともあってやや警戒感が薄れたか、ドル円は底堅く推移。154円ちょうど付近では勢いが一服するも、その後も同水準での推移が継続。結局153.92レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

直近、円の大きな動きが目立つが、パーツについてみると、対ドルで今月1日に昨年10月に付けた高値を更新した後、3日にかけて36パーツ台半ばまで急落する等、こちらも相応に大きな動きが見られている。月初、大きく下落した要因としては市場が懸念するほどタカ派ではないと受けためられたFOMC、及び予想を下回った米4月雇用統計が挙げられよう。米国の金融政策を巡っては一部では利上げの可能性を想定する向きもあっただけに、次の一手は利下げであることを印象付けることとなった月初の動きはドルパーツ相場にも大きな影響を与えたと言える。ただ、雇用統計を受けた急落後、直ぐに水準を戻していることや、市場が織り込む年内の利下げ回数も1~2回程度から大きく変更がないことに鑑みれば、引き続き、今後出てくる経済指標を確認したいところだろう。直近で予定されている重要指標としては15日の米4月CPIが挙げられる。発表まではやや時間が開いていることから(ただ、それまでにFOMCメンバーの発言予定は相応にあり、突発的な動きに注意が必要であるが)、今後の動きに向けた準備を今のうちに整えておきたい。(末廣)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.